



新小野田発電所2号機における配管肉厚の自主検査結果について

当社は、平成16年8月11日付経済産業省指示（「発電用火力設備の水・蒸気系配管の技術基準適合状況調査について」）に基づき、運転開始後20年未満の火力発電所（4発電所6ユニット）について腐食・浸食による減肉が生じる可能性のある配管部位の検査実施計画を、平成16年10月12日、経済産業省に提出し、配管肉厚の自主検査を順次実施しています。

新小野田発電所2号機（昭和62年1月運転開始）については、平成17年4月1日～5月23日までの中間点検工事期間中に検査を実施した結果、給水加熱器胴空気抜き配管^(※)において、国の基準を下回る部分的な減肉が1箇所確認されたため、該当部位の配管取替を行いました。

なお、当ユニットは、中間点検工事完了後、運転を再開しています。

※ 給水加熱器胴空気抜き配管：給水加熱器（ボイラに送る水を温める装置）に溜まった空気等を排出する配管。

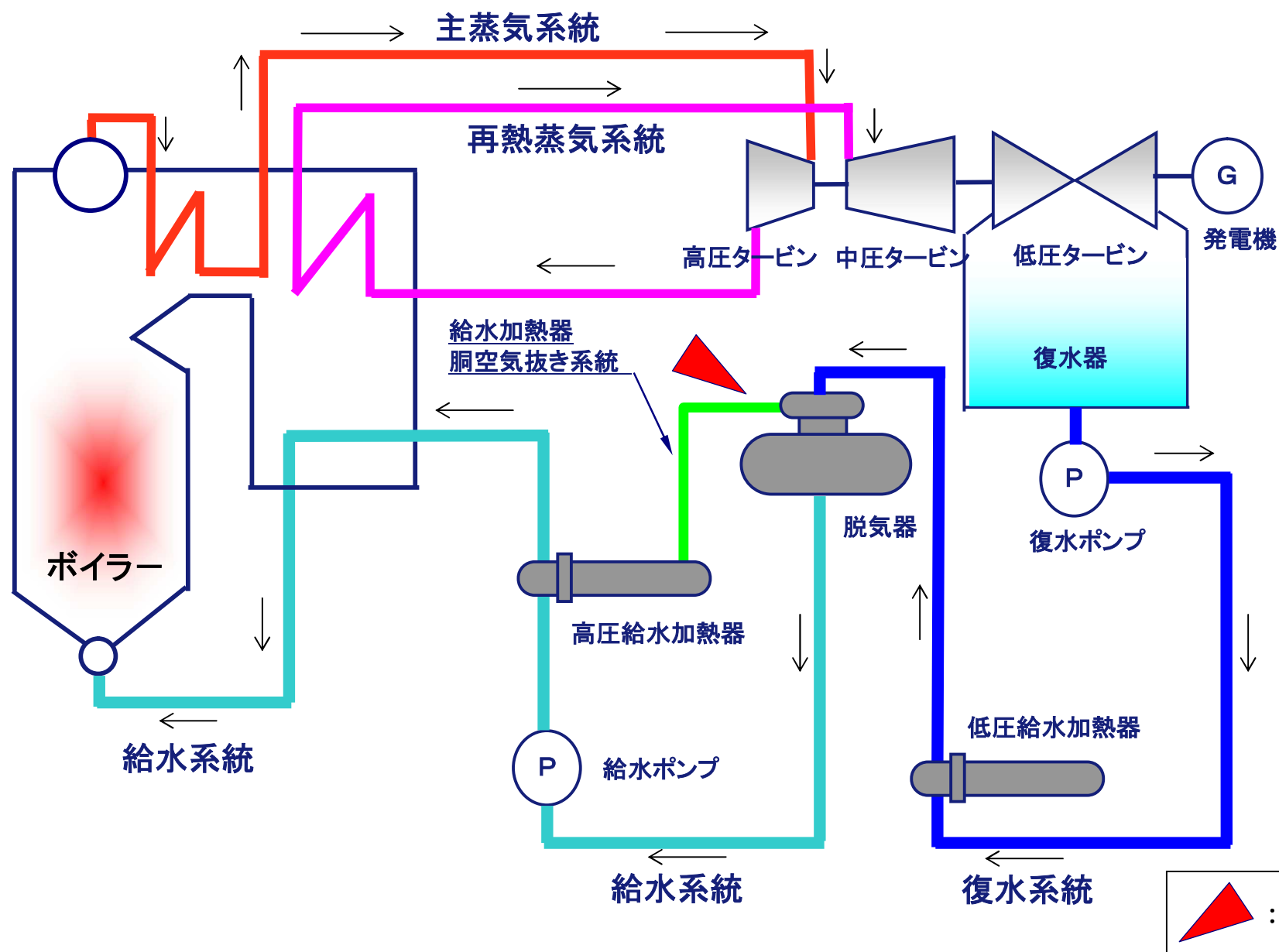
以上

〈参考〉新小野田発電所2号機配管肉厚測定結果

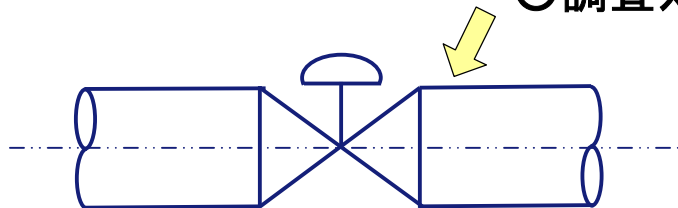
部位名		外径 (mm)	肉厚 (mm)	技術 基準 (mm)	測定 最小値 (mm)
給水加熱器胴空気抜き配管	曲管	139.8	6.6	3.8	3.0

別紙：1. 調査対象系統の概略図
2. 調査対象部位の概要図

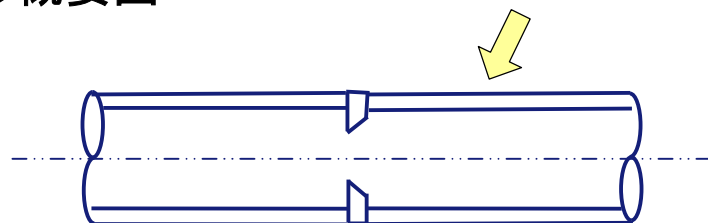
○調査対象システムの概略図



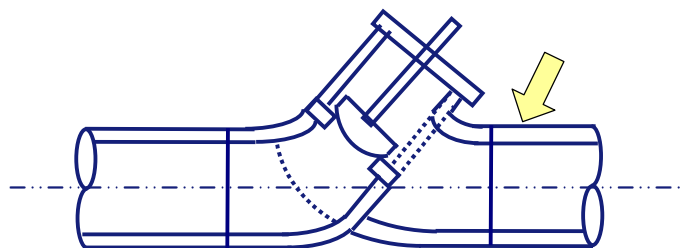
○調査対象部位の概要図



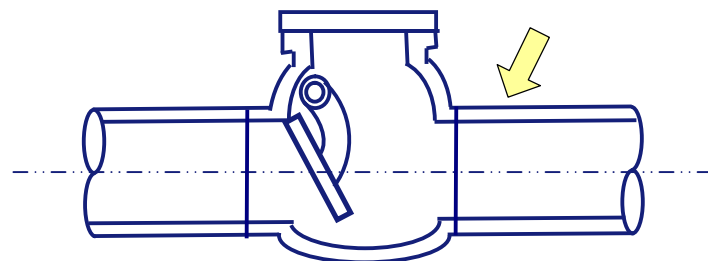
制御弁下流部



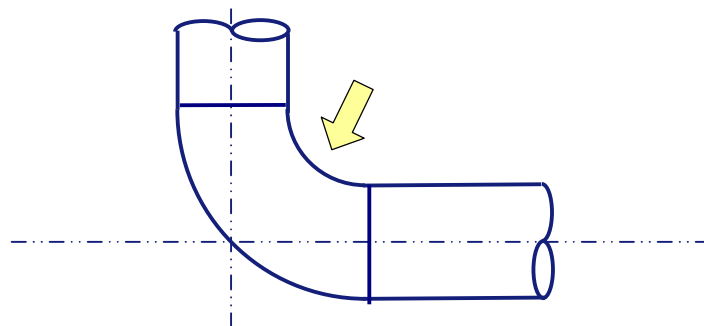
オリフィス下流部 (フローノズル)



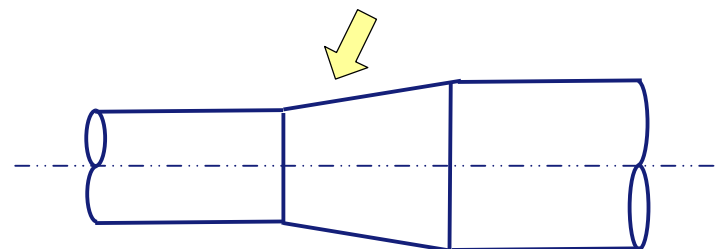
玉型逆止弁下流部



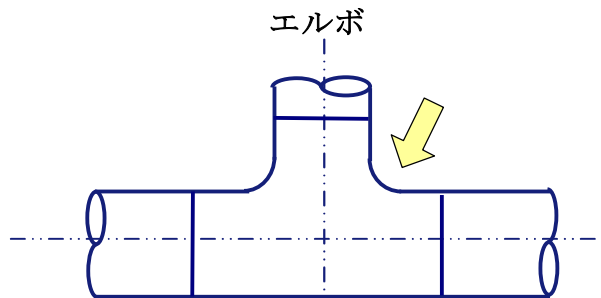
スウィング型逆止弁下流部



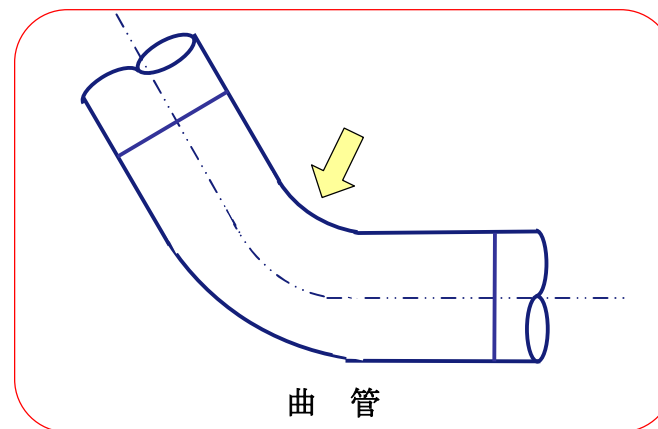
エルボ



レジュース



T 管



曲管

 : 該当部位